



ハートニュース

被害を受けた方が平穏な生活を取り戻すことを願って



奈良公園・浮見堂の桜
Photo:Ishihara Yoshiko

CONTENTS

- ご挨拶 理事長 西口廣宗 2
- 平成21年度新役員 2
- 相談・支援活動概況【平成20年中】 3
- 広報・研修活動カレンダー【平成20年度】 4
- ご協力ありがとうございます【正会員・賛助会員(個人)】
センターの活動案内 6
- ご協力ありがとうございます【賛助会員(団体)ご寄付】
奈良市役所・県遊技業組合からのご寄付 7
- INFORMATION 8

(社)なら犯罪被害者支援センター

相談電話

0742-24-0783

ゼロナヤミ

月・火・水・金・土 10:00~15:00

2009 春

Vol.7



ごあいさつ

理事長 西口 廣宗

平素よりのみなさまの温かいご協力に心より感謝申し上げます。

当センターは平成19年に社団法人となり、ボランティア相談員による電話相談や、専門相談員による裁判所・病院等への付き添いといった「直接支援」を着実に充実させております。昨秋の「犯罪被害者週間」には、松本サリン事件の犯罪被害者である河野義行さまをお迎えして、被害者支援フォーラム「県民のつどい」を開催いたしました。こうした活動を通じて、被害者支援の必要性や現状について理解が広がることを願っております。

今年度は組織・財政基盤等の課題に取り組みながら、犯罪被害者等早期援助団体の指定を目指して行きたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

平成21年度 (社)なら犯罪被害者支援センター 新役員等

(敬称略・順不同)

役 名	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職
理 事 長	西 口 廣 宗	株式会社南都銀行 代表取締役会長
副 理 事 長	秋 本 讓 二	弁護士・奈良弁護士会犯罪被害者支援委員
	森 本 俊 一	三和澱粉工業株式会社代表取締役社長
	島 本 郁 子	産婦人科医・奈良県立医科大学臨床教授・奈良県警察被害者支援アドバイザー
専 務 理 事	森 田 清 司	元奈良県警察本部刑事部長
理 事	大久保純一郎	帝塚山大学心理福祉学部教授
	喜 多 一 嘉	喜多酒造株式会社代表取締役社長
	菊 池 武 之 祐	奈良トヨペット株式会社代表取締役社長
	小 泉 和 男	元奈良県警察本部被害者対策室長
	永 田 正 利	全国農業協同組合連合会経営管理委員会会長・奈良県同経営管理委員会会長
	北 條 正 崇	弁護士・奈良弁護士会犯罪被害者支援委員
	堀 尾 治 代	天理大学人間学部教授
	宮 川 治 樹	帝塚山大学心理福祉学部准教授
	宮 代 ト シ 子	当センター事務局長・元奈良県中央こども家庭相談センター相談員
	豊 田 園 子	天理大学人間学部教授
	坪 井 貞 美	株式会社南都銀行総務部顧問
	花 内 益 次	元奈良県警察本部交通部長
	岩 本 サ カ エ	奈良いのちの電話協会事務局長
監 事	亀 井 常 可	税理士・近畿税理士会奈良県支部連合会顧問
	堀 川 英 幸	三和澱粉工業株式会社顧問
顧 問	植 村 圭 子	奈良いのちの電話協会理事長
	栢 本 隆 博	奈良市法令遵守監察監
	藤 掛 永 良	なら犯罪被害者ネットワーク代表・奈良県臨床心理士会理事
	三 木 善 彦	帝塚山大学心理福祉学部教授・大阪大学名誉教授
	宮 谷 太	奈良県くらし創造部長
	山 上 皓	全国被害者支援ネットワーク理事長・東京医科歯科大学名誉教授
	米 田 茂 雄	奈良県警察本部警務部長
参 与	吉 村 豊	奈良県警察本部警務部参事官 (被害者対策担当)
	林 慶 治	奈良県警察本部警務部県民サービス課長
	東 元 伸 光	奈良県警察本部警務部県民サービス課被害者対策担当補佐

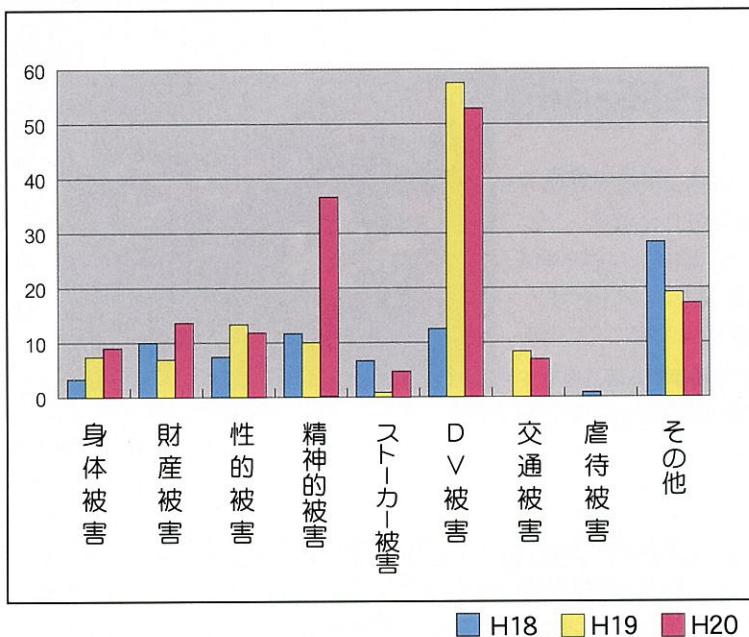
相談活動・支援活動の概況

《平成20年1月1日～12月31日》

■ 取扱件数

区 分	総 件 数	電話相談	面接相談	直接支援	カウンセリング
平成20年	172	98	53	13	8
平成19年	143	82	41	18	2
平成18年	88	71	7	5	5

■ 年度別・被害内容 (H18・19・20)



■ 直接支援の内容

被害内容	件数
生活支援	4
病院付き添い	1
弁護士相談付き添い	5
関係機関付き添い	3

■ カウンセリングの内容

被害内容	臨床心理士	弁護士
性被害	2	1
交通事故	1	1
DV被害	1	0
その他	2	0



相談・支援活動の現状について

平成20年4月1日に奈良市橋本町のマーチャントシードセンターに事務所を移転し、事務局の体制や相談体制が整いつつあります。平成21年2月に被害者支援員2期生の養成講座が終了し、4月から新たに支援員の仲間入りをします。21年度は公安委員会の早期援助団体指定を目指して、さらに支援活動の充実を図っていききたいと思います。

平成20年中の受理件数は172件で、昨年より29件増加しました。内容別では精神的被害の相談が増えています。近隣間のトラブルや職場でのいじめなど、犯罪とはいえなくてもやり場のない憤りや、誰にも言えない心の痛みが窺えます。被害を受けた人の中には専門家による心のケアが必要なケースもあり、臨床心理士や医師・弁護士のカウンセリングを受けました。

なら犯罪被害者支援センター 平成20年度 「広報・研修活動」カレンダー

平成20年度の主な活動を紹介します。

そのほか毎月実施している「定例研修会」はじめ他センターの研修会・行事等への参加も積極的に行っています。

近年は自治体等、他機関からの講師派遣依頼も増加しています。



@Ishihara Mayumi

平成20年度第1回・第2回通常総会

平成20年度の通常総会が、第1回は平成20年6月20日、第2回は平成21年3月4日に奈良マーチャントシードセンターで開催されました。第2回総会では西口廣宗理事長が「センターの活動は徐々に充実しております」と報告しました。さらに今後の課題として

- ①犯罪被害者や遺族に十分な支援サービスを行うには、組織の整備や財務基盤の強化
- ②公益社団法人の認可取得
- ③公安委員会からの犯罪被害者等早期援助団体の指定などをあげ、引き続き協力を求めました。

写真：第2回通常総会で挨拶する西口理事長



犯罪被害者支援奈良県民のつどい



20年度は「途切れない支援～平穏な生活が営めるまで」をテーマに、犯罪被害者週間の平成20年11月27日、奈良市ならまちセンターにて開催しました。オープニングでは県警音楽隊のミニコンサートもあり、参加者は400人あまりにのぼりました。

「被害者支援フォーラム」では、松本サリン事件の被害者である河野義行さんの「被害者支援に望むこと」と題した基調講演があり、続いて行われたパネルディスカッションでは、河野さんを交えて、現実に必要とされる支援のありかたを熱心に討議しました。

写真：「世間やマスコミから受けた容疑者扱いは苦い経験」と講演する河野さん

街頭での広報啓発活動

犯罪被害者週間の平成20年11月29日には、近鉄大和西大寺駅前広場において広報啓発活動を行いました。電車の乗降客や通行する人々に当センター作成のリーフレットや啓発グッズ約800個を配布し、理解と協力をお願いしました。



写真：街頭広報活動の状況

「犯罪被害者等支援員」の第2期養成講座



平成20年9月～11月に第2期の支援員養成講座全11回を開きました。受講した人たちからは「自分の考えではなく相談者のことばから心情や悩みを感じ、理解し、対応やアドバイスすることの大変さを感じました」「自分の感性を磨き、良い支援員になれるよう努力していきたい」「実際に被害を受けた方のお話を聞いて、このボランティアの重要性を感じました」などの感想がありました。

平成21年4月1日には第1期生と共に「委嘱式」に出席し、支援員26人で新たなスタートを切りました。

写真：養成講座の状況

全国で初めて「犯罪被害者支援企業等連絡協議会」を設立

平成21年2月4日に「犯罪被害者支援企業等連絡協議会」を設立しました。支援センターと県内の31企業・団体が加盟するもので、こうした連携は全国でも初めてです。協議会は犯罪被害者等基本法に含まれる「雇用の安定」を図るための施策の一環で、今後さらに事業主や職場の理解を深め、被害者への配慮や協力がすすむように支援していきます。

「H20年度県民のつどい」（前掲）において、河野義行さんは職場の支援について「入社してまだ1年だった私に、職場が全面協力してくれて本当にありがたかった」と発言されました。

また「H19年度県民のつどい」では、長崎県佐世保市で発生した小学女子殺人事件の遺族父親である御手洗恭二さんが「会社は後輩2人を、ほぼ2ヶ月間完全に私の生活のサポートにあててくれ非常に助かった」と言われました。

さらに同協議会の設立に際して、奈良市で起きた小1女子殺人事件の遺族の父親が「突然身にふりかかる犯罪被害には、専門家と身近な人たちの一体となった支援が必要。このたびの企業との連携も大変有意義です」と手記を寄せてくださいました。

写真：連絡協議会の開催状況



全国被害者支援ネットワーク近畿ブロック研修会（2008年度第2回）

平成21年2月13・14の両日、奈良市猿沢荘で、近畿ブロック研修会（全国被害者支援ネットワーク主催）を開催しました。近畿でのブロック研修会は昨夏の大阪府での開催に続き2回目です。今回はおうみ・京都・大阪・ひょうご・

紀の国・なら各センターから37名が参加して、支援員としての知識や技術を高めたり、情報交換を行いました。

冒頭で全国被害者支援ネットワークの渡辺事務局長が「内閣府からの3つの宿題である、全国的な研修の実施およびマニュアルづくり、に関してはかなり進んできました。残る、相談員認定制度については現在検討中です。このブロック研修でどんな学びがあるのか各機関が注視しています」と挨拶されました。

受講した支援員からは「支援プラン作成のロールプレイングでは、本当に被害者自身の声を尊重して行うことが大切なことを実感しました」などの感想がありました。



写真：近畿ブロック研修会でされたグループワーク

ご協力 ありがとうございます

平成20年度正会員・賛助会員(個人)様〔敬称略〕

正会員

西口高亀増三上 廣橋み井井上 宗の常嘉勝敦史 秋豊堀川松谷 本田川谷 譲園英博 二子幸博 森永植村工 本田植村藤 俊一利圭 一正圭 島北柏本西 本條本西 郁正隆秀 子崇博文 森堀藤松井 尾掛井 田尾掛井 清治永正 司代良夫 大宮三有 久川三山 保川善雄 純治善基 一郎樹彦基 喜宮本上 多代ト 喜宮ト 一嘉子夏子 嘉子夏子 池坪西小野 武井西小野 之貞美江 祐美己江 小泉内川若原万紗子 和益次勲子

賛助会員 (個人)

青木西今梅大岡嶋久小近志赤高辰辻富中中村西橋東備福本松南森山山吉 川西嶋久小近志赤高辰辻富中中村西橋東備福本松南森山山吉 雅光弘順清一夫隆裕誠二昇昭史規明修健照久匡佳秀隆彦 潔寿和弘二志勝茂一則雅誠二昇昭史規明修健照久匡佳秀隆彦 山津浦大西川崎内井篠上瀧中久谷本西村東藤前谷山本 青石植田大岡角川崎内井篠上瀧中久谷本西村東藤前谷山本 一佳和茂利夫章昭夫信一雄芳孝司章義麻美克浩司公智子三敏浩治幸和史親利晶貞 郎代樹二夫稔章昭夫信一雄芳孝司章義麻美克浩司公智子三敏浩治幸和史親利晶貞 浅石上ト大岡片岡原田島上谷窪中川井島森本西蜂谷東福藤比松谷永原川喜湯依 井原田部西岡河楠田五坂芝新田中森本西蜂谷東福藤比松谷永原川喜湯依 井原田部西岡河楠田五坂芝新田中森本西蜂谷東福藤比松谷永原川喜湯依 彰淑人尚巴さ永夫司紀也義隆望義隆望義隆望義隆望義隆望義隆望義隆望義隆望義隆望義隆望 文子敏能知佳秀悦眞尚和教康義伸佳和榮佐三弘子律子雅子明己治義和 文子敏能知佳秀悦眞尚和教康義伸佳和榮佐三弘子律子雅子明己治義和 阿逸上江大岡片岡原田島上谷窪中川井島森本西蜂谷東福藤比松谷永原川喜湯依 部崎田戸端西本山田本西口川杉本多砥石中上嶋谷西本部元福井本村丸山馬下森本口横井 亮正昭子司敏予治子正和英雄雄信秀夫平彦弘亨英明次光學章泰一吾兵庫則次郎忠男典 亮正昭子司敏予治子正和英雄雄信秀夫平彦弘亨英明次光學章泰一吾兵庫則次郎忠男典 安伊植大久野山間喜久小坂貴島杉田中谷尾島中西濱田濱田松村萬宮森島矢山崎喜代司 道藤西大久野山間喜久小坂貴島杉田中谷尾島中西濱田濱田松村萬宮森島矢山崎喜代司 伊植大久野山間喜久小坂貴島杉田中谷尾島中西濱田濱田松村萬宮森島矢山崎喜代司 聖淳英二康治光記司子誠久義輝哲友則樹祥隆房智弘長利次宗安昭雄友代司 修志二康治光記司子誠久義輝哲友則樹祥隆房智弘長利次宗安昭雄友代司 井伊植大倉前久保久小林正太郎高徹全光文重和忍隆修慶治美滿仁俊正幸香匡久由隆彰 井伊植大倉前久保久小林正太郎高徹全光文重和忍隆修慶治美滿仁俊正幸香匡久由隆彰 真敏康史和夫子憲修仁郎彦徹全光文重和忍隆修慶治美滿仁俊正幸香匡久由隆彰 澄彦夫郎和夫子憲修仁郎彦徹全光文重和忍隆修慶治美滿仁俊正幸香匡久由隆彰 池田大倉村谷下代田本本山村脇尾川中畑西二滝林弘福北松岡室水尾田内崎澤和 池田大倉村谷下代田本本山村脇尾川中畑西二滝林弘福北松岡室水尾田内崎澤和 潤典子潔功昭晶明貴道晴好世雄美嗣之史博吉享明光則秀弘樹司子文一夫子夫仁 潤典子潔功昭晶明貴道晴好世雄美嗣之史博吉享明光則秀弘樹司子文一夫子夫仁 池井内太岡斐嶋木村山本阪下瀬戸川中村西角布目田福堀内松本水野田森内田吉渡 池井内太岡斐嶋木村山本阪下瀬戸川中村西角布目田福堀内松本水野田森内田吉渡 一敏行哲子昭新愛勝新義幸文一哲忠勉健恭英太郎利保博和博司健利一善幸朋子 一敏行哲子昭新愛勝新義幸文一哲忠勉健恭英太郎利保博和博司健利一善幸朋子 池猪内大岡澤内川村桑近笹山高倉辰千富中田中村西橋水廣福本堀下松本三森山岡山吉 池猪内大岡澤内川村桑近笹山高倉辰千富中田中村西橋水廣福本堀下松本三森山岡山吉 田谷山澤内川村桑近笹山高倉辰千富中田中村西橋水廣福本堀下松本三森山岡山吉 田谷山澤内川村桑近笹山高倉辰千富中田中村西橋水廣福本堀下松本三森山岡山吉 勝昌益克尚洋武正英伸お四尚志彦満史也夫江三正人治鑑文智子昇迪太郎 勝昌益克尚洋武正英伸お四尚志彦満史也夫江三正人治鑑文智子昇迪太郎 紀彦昌子一司樹朗幸修瑠郎尚志彦満史也夫江三正人治鑑文智子昇迪太郎 紀彦昌子一司樹朗幸修瑠郎尚志彦満史也夫江三正人治鑑文智子昇迪太郎

なら犯罪被害者支援センターでは多様な被害者支援サービスを行っています

センターの目的

犯罪に遭われた被害者、その家族、遺族が抱える悩みの解決や心のケアを支援するため、電話相談、面接相談等を行うとともに、社会全体の被害者等を支援する意識を高めるために設立した民間のボランティア団体です。

センターの活動

相談活動

電話相談

研修を受けたボランティアの相談員が、親身に応対

面接相談

専門家が、心理相談、精神医療相談、法律相談を実施(事前予約が必要、一部を除き有料)

直接支援活動

裁判等への付添

面接相談



広報活動

広報資料の発行

・ポスター、リーフレット等

街頭キャンペーン

・「犯罪被害者週間」に実施

マスコミ広報

関係団体等の協力による窓口広報

ホームページの開設

研修活動

講演会の開催

各種研修会への参加

ご協力 ありがとうございます

平成20年度賛助会員(団体)様・ご寄付の方〔敬称略〕

賛助会員(団体)

あけみどり会 アスカ美装(株) 生駒交通(株) 石崎眼科 医療法人健和会 医療法人松本快生会西奈良中央病院
A I U保険会社奈良支店 A I 保険サービス(株) 東京海上日動火災保険(株)奈良支店 日本生命保険相互会社奈良支社
尾浦自動車(株) 大川適税理士事務所 岡村産業(株) 榎原神宮 春日大社 学校法人聖心学園 学校法人智辯学園
学校法人帝塚山学園 (株)愛光建設 (株)いせや (株)イムラ封筒 (株)鍛冶田工務店 (株)奈良ホテル (株)近
鉄百貨店 (株)公益社 (株)駒井製作所 (株)さこや旅館 (株)シードコンサルタント(株)J T B奈良支店 (株)シ
ヤンデール (株)セイコー社 (株)高木包装 (株)タカキタ (株)寺田ポンプ製作所 (株)ナカガワ (株)奈良マツダ
(株)南都銀行 (株)ハヤシニット (株)福本設計 (株)榎谷 (株)ミヤタケ (株)三輪そうめん山本 (株)明新社
(株)山崎屋 (株)有宏社 上武建設(株) 河村商事(株) 関西電力(株)奈良支店 旭光コンクリート(株) 金陽製薬(株)
クラウン工業(株) 広陵町建設業協同組合 小山(株) (財)奈良県交通安全協会 (財)なら建築住宅センター (財)奈
良県防犯協会 阪口工業(株) 酒本産業(株) 三和建设(株) 三和住宅(株) 三和澱粉工業(株) 宗教法人天理教
GMB(株) (社)奈良県銀行協会 (社)奈良県警友会連合会 (社)奈良県トラック協会 生駒商工会議所 奈良商工会議所
橿原商工会議所 大和高田商工会議所 広陵町商工会 大協(株) 大光宣伝(株) 大和ガス(株) 田村薬品工業(株)
つる由 (特)奈良県社会福祉事業協会 トリスミ集成材(株) 奈良県医師会 奈良県花き植木農業協同組合 奈良県警
察本部県民サービス課 奈良県警察本部警備部機動隊 奈良県警察学校教職員 奈良警察署 奈良西警察署 西友会
奈良西警察署 幹部会 天理警察署 融和会 田原本警察署 幹部会 宇陀警察署 中吉野警察署 五條警察署 五友会
奈良県自動車販売店協会 奈良県信用金庫協会 奈良県信用保証協会 奈良県生命保険協会 奈良県農業協同組合
奈良県遊技業協同組合 奈良交通(株) 奈良市人権施策課 奈良ダイハツ(株) 奈良豊澤酒造(株) 奈良トヨタ自動車(株)
奈良トヨペット(株) ネットトヨタ奈良(株) トヨタカローラ奈良(株) 西垣林業(株) 奈良県中小企業団体中央会
ビッグカーゴ(株) ビッグサム(株) 福井水道工業(株) 福和商事(株) フジゼロックス奈良(株) ホテル日航奈良
ミュージックサービス(株) 大和真珠核工業(株) (有)末永整骨院・光 (有)フローラリエ 和興産業(株)

ご寄付

奈良県遊技業協同組合 福和商事(株) 奈良市職員有志 秋本譲二 上田幸男 島本郁子 宮代トシ子 森田清司

ご寄付をいただきました



平成21年3月27日、藤原昭奈良市長より、奈良市職員有志417人と多くの方々の厚意による30万円のご寄付を頂きました。



平成20年9月8日、奈良県遊技業協同組合理事長金田元吉さんより、チャリティゴルフコンペの収益金の一部、50万円のご寄付を頂きました。

賛助会員・寄付等のお願い

(社)なら犯罪被害者支援センターの活動は、「正会員」「賛助会員」及び「ご寄付くださる方々」の温かい支援により支えられています。みなさまのご理解とご協力をお願い致します。

賛助会員 年会費	個人	一口 3,000円
	団体	一口 10,000円

※専用の振込み書を用意しておりますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。
※当センターホームページ「会員のご案内」ページから申込書のダウンロードができます。

● INFORMATION ●

奈良県議会議員・山本進章(のぶあき)氏が 「犯罪被害者に対する支援について」質問

山本議員は、平成21年3月11日の本会議において、県と県警察に対して「犯罪被害者に対する支援状況と今後の取り組みについて」質問され、「なら犯罪被害者支援センターなどの組織と連携して支援の幅を広げて行きたい」という回答を得ました。



ボランティア支援員募集

◇応募資格（性別不問）

- 1、県内在住の成人
- 2、心身共に健康である方
- 3、被害者支援に関心があり、ボランティア活動に理解と意欲がある方

◇募集人員 約20名

◇応募期限 平成21年6月30日

応募者を選考の上、支援活動に必要な知識・技能を修得するため、一定時間以上の「被害者支援員研修」を受講（有料）していただきます。詳細は事務局まで

電話相談・面接相談のご案内

◇電話相談は無料です。相談日時は月・火・水・金・土曜日の10時から15時まで。



ゼロナヤミ
0742-24-0783

◇電話相談をお受けしたのちに、ケースに応じて心理相談や法律相談を紹介します。なお専門家による相談は一部を除き有料となります。詳細は相談電話や事務局までご連絡ください。

社団法人なら犯罪被害者支援センター

Nara Victim Support Center

〔事務局〕〒630-8217 奈良市橋本町3番地の1 奈良マーチャントシードセンター3F

TEL・FAX 0742-26-6935

活動日時 月・火・水・金・土曜日 10:00～16:00

ホームページが新しくなりました

名称：社団法人 なら犯罪被害者支援センター
<http://www8.ocn.ne.jp/~nara-vsc/contact.html>

「法人概要」「活動案内」「財務報告」「会員案内」などを閲覧できます。また「メール相談窓口」ではフォームに記入して、メール相談を受けることもできますのでご利用ください。



@Ishihara Mayumi

ハートニュース

=2009・春号・Vol.7=

発行：(社)なら犯罪被害者
支援センター

発行責任者：
専務理事 森田 清司

発行日：H21年5月